

令和3年4月12日

野球規則改正による反則投球に関する解釈について

2018年公認野球規則改正において、走者がいる場合はNPBと異なりボークとする旨、通達いたしました。昨年度、2020年公認野球規則改正で、次のとおり投球動作に関する改正がありました。下記の該当規則をご確認下さい。

記

- 2020年度公認野球規則改正で、投球動作の解釈が改訂され、自由な足を上下させて投球するいわゆる二段モーションやグラブを叩いたりする動作に関しては、投球動作の一部としての解釈となり、塁上に走者がいても“ボーク”を科さないことになりました。

【該当規則】

○5.07(a)(1)①及び(2)②・・・規則書P42、P44（下線部を改正）

「打者への投球動作を起こしたならば、中断したり、変更したりしないで、その投球を完了しなければならない。」

○5.07(a)(2)【注2】・・・規則書P45（下線部を改正）

「(1)(2)項でいう“中断”とは、投手が投球動作を起こしてから途中でやめてしまったり、投球動作中に一時停止することであり、“変更”とは、windアップポジションからセットポジション（または、その逆）に移行したり、投球動作から塁への送球（けん制）動作に変更することである。」

- 塁に走者がいる際に、投球動作を中断あるいは変更したと審判員が判断したときにはボークが科されます。

【該当規則】

○6.02(a)・・・規則書P100

「塁に走者がいるときは、次の場合ボークとなる。」

(1)「5.07(a)(1)及び(2)項に定める投球動作に違反した場合。」

※次の資料を参照にしてください。

○2021 競技者必携 質疑応答 P99～103 投球関連の問答 58問～76問

○野球審判員マニュアル【第4版】 P106 4 二段モーション

P111 5 投げる際にグラブを叩く

公益財団法人全日本軟式野球連盟
技術委員会